



日本サーバス本部会報

2022.3 日本サーバス会長 N S

寒さもやっと峠を越し、春が一気にやってきた気配ですが、コロナの高止まりとそしてプーチン政権のウクライナ侵略という歴史的な大事件が起っています。皆様も突然の出来事に驚かれていますことと思います。

21世紀は誰もが民主主義やSDGsを目指して、将来の世代が安心して暮らせるような世界をと望んでいたはずなのに、一人の指導者の野心と欲望によって、とんでもない暴挙がまかり通ろうとしています。

2月25日国際サーバス会長からメッセージが届きました。そのメッセージの冒頭に以下のようなウクライナ侵略に対する国際サーバスの見解が書いてあります。

Dear Servas International Member Groups
I hope this message finds you well, even though we're all shocked from the terrible fact that the world is suffering from yet another armed conflict, this time in Ukraine. Our thoughts are today with all the people who are the innocent victims of the horrors of that war.

It is now more important than ever that we as members of Servas pursue our overarching, long-term vision of a more peaceful world, and continue our mission is to contribute to achieving this goal.



Twitter 社の配信記事より

親愛なる Servas インターナショナルメンバーグループの皆様
世界が今度はウクライナでさらに別の武力紛争に苦しんでいるという恐ろしい事実には私たち全員がショックを受けていますが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。私たちの思いは、今日、その戦争の恐怖におびえている罪のない犠牲者であるすべての人々と共にあります。
Servas のメンバーとして、より平和な世界という包括的な長期ビジョンを追求し、この目標の達成に貢献することを使命とし続けることが、これまで以上に重要になっています。

また国際サーバス副会長からは Facebook の Servas International に次のようにメッセージを載せています。

SI President, Jonny Sägänger, has sent a message to Servas Ukraine NS, S. Kibitkin yesterday morning. Many international Servas friends have sent support messages to members in Ukraine, as well.

The only thing we can do is show our solidarity and let them know they are not forgotten. And if they need a place to stay, while this insanity is going on, I'm hoping that they have Servas friend in Europe who may be able to help.

国際サーバス会長 Jonny Sägänger 氏は昨日の朝、ウクライナのサーバス会長 S. Kibitkin 氏にメッセージを送りました。まだ同様に多くの国のサーバス会員がウクライナ会員にメッセージを送っています。

私たちができることは私たちの連帯を表し、彼らは決して忘れ去られていないと示すことです。そしてもしこの狂気が進行している間、彼らが滞在するところを必要とすればヨーロッパの会員は助けることができるよと手を差し伸べることができればと思います。

サーバスでも国際連帯がますます重要になってきていると思います。

今回の会報は、盛沢山！次の内容でお届けします。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 国際サーバス会長 J さんから届いた 11 月予定の国際会議に関するメールの概要 | NS |
| 2. 第 2 回東アジア地区オンライン交流会でのプレゼンのご紹介 | |
| ・第 2 回サーバス東アジア Online ミーティング～着物リメイク～ | HT |
| ・The 2nd Servas East Asia online meeting に参加して | TS |
| ・初めての養蜂 | AT |
| 3. リモート碑巡り | 中国四国支部・ 企画部 |
| 4. イタリアだより | 近畿支部 ON |
| 5. 私にとっての年末年始 | 東海北陸支部 IM |
| 6. 気候変動から気候緊急事態(国際サーバス会報(Vol.23. NO.4 2021 p18)) | NS |
| 7. 国際サーバス会報(Vol.23. NO.4 2021) 要約 | 日本サーバス 国際部チーム |
| 8. あとがきにかえて | NS |

1. 国際サーバス会長 J さんから 2 月 5 日に届いた 11 月予定の国際会議に関するメールの概要

NS

国際会議についてはハイブリット（対面とオンライン）の 2 本立てで、行うようですが、対面の会議をどこで行うかはまだ今回は書いてありません。日程は 11 月 24～25 日が SIGA (Servas International General assembly) , SICOGA (Servas International Conference and General Assembly) は 2022 年 11 月 21～26 日に予定されています。SIGA は実務的な会議で各国から出された議案を検討する会議も含みます。

そのために今回は議案の募集が行われています。議案の提出は、会議開催の 6 か月前までなので 2022 年 5 月 24 日が締め切りとなっています。提出された議案は SI EXCO (国際サーバス役員) と SIGA AGENDA WORKING GROUP (SIGA AWG/SIGA ワーキンググループ) が精査して、議案をまとめます。SIGA の会合が始まる前に AWG の会議がオンラインで開かれますが、これは興味のある参加者はだれでも参加できます。

2. 第2回東アジア地区交流会でのプレゼンのご紹介

1月23日に行われた第2回交流会ではHTさん、TSさん、ATさんがSDGsに関するプレゼンを英語で披露されました。参加者は25か国から100名以上に及び、日本サーバスから25名の参加者がありました。大変な反響で、皆さんとの交流を楽しみました。

第2回サーバス東アジア Online ミーティング～着物リメイク～

近畿支部 HT

会長も私も着物のリメイクが好きで、作ったらよく見せあっていました。第2回東アジア Online ミーティングの報告が日本の当番になったので、主題をSDGsにして、私にもSDGsのNo.12「つくる責任つかう責任～着物リメイク～」で参加してほしいと連絡があり、お引き受けしました。

テーマを「近年の気候温暖化が産業革命による大量生産と大量消費に端を発しているので、その問題を軽減するために、着物を再利用している事と、物には命があり不要になった物にも命がある、だから不要になったからといって捨てるのではなく、物の命を最後まで大切にする」にしました。そして、日本の着物に焦点を当てた筋書きを考え、理解しやすいように写真を多く入れて発表しました。その内容を紹介します。



若き日の私

タイトルは「第2回 Servas 東アジア Online ミーティング SDGs No.12

つくる責任つかう責任～着物リメイク～」として、前文を、「産業革命後の大量生産、大量消費は人々に多くの便利を与えた半面、廃棄物汚染、気候変動等多くの環境破壊を引き起こして、地球に多くのマイナスの影響をもたらした事、それらの問題を軽減するために、物の削減、再利用、リサイクルが行われている事、今回の私のプレゼンテーションは私の趣味の一つである“着物の再利用”で、それはSDGs No.12の“つくる責任つかう責任”に関連している」としました。

ストーリーは、日本の伝統的な着物は昔から皆が着ていて、我が家にも母の着物も含めて着物が沢山ある事。私は京都に住んでいるので、多くのサーバゲストが来る。その人たちと百人一首での坊主めぐり、抹茶を一緒に入れて和菓子と共に抹茶体験、折り紙をする等の日本文化を楽しんだ後、母の婚礼用の振り袖や男性には羽織り、袴を着せてあげると、早速その写真をfacebookで紹介され、すぐに多くの返事が来て、とても喜んでいられる事。けれども、優雅な着物は活発な動きには適していなくて、テンポの速い現在の生活には不便で、舞妓さんや芸者さんは日常的に着ていて、その美しい姿は皆にとっても人気があるけれども、殆どの日本人は着物を特別な機会、結婚式、劇場での日本舞踊、夏の盆踊り等では着るが、日常的には着ていない事を話しました。我が家にある多くの着物はただタンスに眠っているだけなので、私はこれらの着物を服に作り直している話をして、作った服や着ている姿を写真で紹介しました。

そして、私の亡くなった妹の話、妹は末期の胃がんで2年前に亡くなりましたが、その妹の最後の瞬間に妹の娘は妊娠の初期で交通機関を使って妹の所に来るのは危険で、母の最期に会う事が出来なかった、その娘に妹の愛用の服をリメイクして生まれた赤ちゃんの服にしてあげたら、娘は母がいつも自分の側にいるようだととても喜んでくれた事も話しました。

そして、最後に「全ての物には生命がある、不要になったからと言って捨てるのではなく、不要になった物を再利用して、新たな命を吹き込もう。これが SDGs の No.12 “つくる責任つかう責任” である」と結論しました。

“2nd Servas East Asia Online Meeting 23 Jun 2022～SDG s Kimono Remake～
Servas Japan H T “

After the Industrial Revolution, mass production and mass consumption had a negative impact on the environment, waste pollution, climate change, and so on. In order to alleviate the problem, reduce, reuse, recycle are used as solutions. I will report one of my hobbies, kimono reuse. It is related to SDGs No.12 Responsible Consumption and Production

Traditional Japanese clothing is Kimono. Japanese wore Kimono every day. My family wore Kimono, too. I live in Kyoto. Many Servas members visit our home and enjoy Japanese culture, Japanese card game, Matcha tea, or Origami, etc. Then, I put kimono on Servas guests. They enjoy it very much. However, kimono is not suitable for active movements. Nowadays, most people wear it not always. Japanese wear Kimono on special occasions, for example, Weddings, summer Bon festival dances, Japanese dance performances in theaters, famous Maiko and Geisha. I have many kimonos. So, I have been remaking these kimonos into clothes. Let me show you some of them. These clothes are from Kimono. I wear remake clothes usually. I am remaking Kimonos to lovely small things, too.

My sister N had severe stomach cancer, and she died. Her daughter K was very sad. I remade the clothes that N used to wear for K's baby. K was very pleased that her mother N seemed to be always by her side. Things have life. Instead of throwing away the things that are no longer needed, let's reuse what we don't need anymore, and give them new life. This is the “Responsible Consumption and Production”.



オンライン交流会に参加して

現在東アジア会議代表は台湾サーバス会長の M さんです。彼女が突然東アジア Online ミーティングを行う、しかも東アジアの加盟国だけでなく、多くの国にも参加を呼びかけると言われたのでびっくりしました。そんな事は東アジア加盟国で機関決定をしていないし、今まで行った事ありません。日本サーバスでも国際サーバスでも新しい事をする時は、所属会員（国）に賛否を問い、賛成が得られたら行っています。このルールを全く無視しての実行のアナウンスでした。でも、中国サーバスが 1 番バッテリーで蓋を開けるや、非常に多くの会員が世界各地から参加され、東アジア Online ミーティングを楽しんでいました。今回日本が当番で、私もプレゼンテーションを行うとアナウンスされるや、国内外から「23 日にお会い出来るのを楽しみにしています。」という声が聞こえて、日本時間午後 8 時から始まる予定したが、7 時半からその人たちとおしゃべりが出来るようにして下さいました。又、ミーティングが終わってから交流のあるサーバスメンバーからメールを頂きました。見て楽しんで頂けたようで感謝です。今回の日本のプレゼンテーションが参加者全員にどのように受け取られたかはよくわかりませんが、3 人の発表とも質問が飛び交っていたし、興味を持ってもらえたかなと思っています。

色んな方とおしゃべりを楽しんだ東アジア Online ミーティング、見て下さった皆様、有難う！！

The 2nd Servas East Asia online meetingに参加して

関東支部 TS

私は SDGs **目標 3** を 2022 年 1 月 23 日のプレゼンテーションのために選びました。**目標 3**：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

パワーポイントを使って画像をお見せしました。

私の住まいは横浜市で東京の西の郊外です。高度経済成長期は人口が横浜市やさいたま市へ流出しました。私は小さなバルコニー付きのマンションに住んでいます。バルコニーは狭いですが、ガーデニングが大好きです。私のガーデニングはわたしのこれからの人生の目標です。これに勝るこれ以上のものではありません。自然と共生して生きる都会です。

また、Zoom meeting で Servas メンバーのアメリカの女性や日本人の友達と一週間に一度会話を楽しんでいます。パワーポイントは私の貧弱な英語を補ってくれますし、友達も励ましてくれます。以前より会話が上達していることを望みますが、そうなればよいのですが。

私は 7 階建ての建物の 4 階に住んでいます。バラの品種のプリンセス・ド・モナコ、黄色の花を付けているカランコエ、ゼラニウム、菖蒲、木蓮、孔雀サボテン、カーラー、シクラメン、パンジーなどを育てています。それらはみな元気が良く、生き生きと育ち、プランターや鉢植えですが、私にもっと良い方法を考えなさい。と言っています。

また、息子の友人からゴーヤの若い苗をもらい、8 月 25 日には初めての収穫があり、沖縄料理の豆腐と一緒にゴーヤ・チャンプルを作りました。ゴーヤの収穫期は 7 月から 9 月です。

この様にベランダ菜園が可能であることを画像で見て頂きましたが、マンションは 10 年、ないし 20 年に一度大規模修繕が行われます。修繕作業のスタッフから、ベランダには一切物を置かないでください。とお知らせが入り、鉢植え、プランターの花々を屋上のバルコニーに移して 8 カ月余りを過ごさなければいけませんでした。それは、どうしても避けられない出来事でした。また、万年青という冬に赤い実をつける植物が 2~3 年前は赤く色づいていたのが、昨年は赤くならないまま時が過ぎていきました。良く調べてみると、昆虫が花粉を運んでこない赤く実を付けないことが分かってきました。都会のバルコニーのガーデニングの問題点が見つかりました。折しも長野県にお住いの N さんから、写真付

きのメールが届き、今年もアサギマダラの蝶がやってきました。蜜をたっぷりと吸っています。毎年忘れないで飛来して来ています。と嬉しい便りでした。それを聞き、直ちに、私のベランダにもアサギマダラが大好きな藤袴の苗を植え、飛来してくれることを期待することにしました。8月にネットで注文し、ベランダで今、数カ月が過ぎています。来年は花をつけてくれるでしょうか。アサギマダラのアサギとは日本古来の浅葱色から付けられた名前です。英語では Chestnut Tiger butterfly と呼ばれます。

アサギマダラの会という HP を見つけました。それによるとアサギマダラの習性は集団で飛来し北は山形県から南は台湾、南韓国、香港まで上昇気流に乗って 2000km 以上の長距離を移動することが分かってきました。また、会では飛行距離を確認するため、マーキングという蝶の羽の上に日付、場所の名前や、番号を書いて、移動場所をマーキング・リストを使って確認しあっていることも分かりました。日本国中にその調査チームがあり、飛来している所は東北地方から沖縄までボランティアの拠点があるようです。

その一部をご紹介します。HP が up されていますので、ご覧ください。

[アサギマダラの会 \(asagi-org.jp\)](http://asagi-org.jp)



meeting では私の自慢のガーデニングを見て頂きました。これからの私の未来はこのバルコニー・ガーデニングを抜きにしては考えられません。都会・街と自然と共存していくことの大切さを感じています。

会が終わって、いろんな方から嬉しいコメントを頂きました。Online meeting の世界を繋ぐ Servas のすばらしさを感じています。

Subject: Thank you for your great presentation

.....

Dear S,

With great attention I followed the 2nd South East Asia and especially your presentation of your beautiful plants on your balcony and the information on the chestnut tiger butterfly. It was so great to see you again and to learn about your gardening hobby. I shall follow your example and grow more flower plants on my Balcony.

Now, I wish you All the Best for 2022 and lots of joy with your plants.

Warm regards M. from Frankfurt/Germany



.....

Dear Servas friends,



We wish you all the best for the New Year, especially good health. Hopefully in 2022 CoVid will be overcome. We are boosted but still we live very quietly and don't go to restaurants or meetings inside buildings. We prefer to meet our friends outside and go for a walk with them.

We did not register for the meeting on January, 23rd but we will listen to the talk. So you won't see us but we will be there listening.

Take care and kind regards

H. and M.

.....

Dear S,

Congratulations !

I was so pleased to see you yesterday on you tube and listen to about your love to flowers.

I remember very well your balcony and time which we spent together in Yokohama ! It was a great time !!

I wanted to be at Zoom but I could not to get the link and then I could see everything on you tube.

Could you please send me the e-mail address of Tomoko. I would also like to congratulate her / I know her because we stayed in her house in Kyoto when we were in Japan with the family.

My very best regards. Please pass my greetings to your girlfriend from Yokohama who was with you in Poland.

M.S.



.....

S.H. 05-Feb-2022

Dear Servas friend S.T. san

Thank you for your mail and the details. Yes I thoroughly enjoyed all the presentation and I was very impressed with your gardening Skill. Would love to visit Japan once again. You are also most welcome to come to Rajasthan India. Hope to meet you someday

Take care and stay in touch with warm regards and love

yours in peace

S.H.

初めての養蜂

近畿支部 A T



2年前から趣味で、逃亡癖がある野生のニホンミツバチを重箱式巣箱で飼い始めました。日本には他に明治時代に家畜として輸入された少し大きいセイヨウミツバチもいます。

女王バチは、ローヤルゼリーだけを食べ、毎日 1,000 から 2,000 個の卵

を産み続け、寿命は2〜3年です。働きバチは全て雌で、寿命は1〜3ヶ月、巣箱の中で仕事を次々に替わっていき、20日目以降になると外に出て花蜜や花粉を集めて持って帰るようになります。



春になると雄バチが登場します。雄バチは英語では無線操縦で操作する無人機と同じドローン drone と言い、怠け者とか役立たずという意味です。実際、雄蜂は毒針もなく、巣内では一切の仕事もせず、繁殖期以外は無用の存在なのです。



春に新しい女王が誕生すると分蜂が起こります。古い女王が群れの半分ほどを引き連れて出て行き、新しい女王に巣を引き継ぐのです。この時、あたり一面、飛び回るハチでいっぱいになります。攻撃性は低いですが、近づきたくあ

りません。やがて、近くの枝に集合して蜂球^{ほうきゅう}を作ります。女王バチも一緒に捕獲できれば、もう1群が手に入ります。

巣が大きくなると採蜜ができます。ニホンミツバチは、複数の花の花粉や蜜を集めるので『百花蜜』と呼ばれます。採蜜の回数も採れる量も少ないので貴重です。味が濃厚で深みがあり、巣ごと食べる巣蜜は最高です。蜜蝋でロウソクも作ってみました。お盆に仏壇に灯してお供えしました。



ミツバチを含め昆虫の個体数が減少しています。土地開発で緑地が減少、公園では、花びらが散ったり実が落ちたりする樹木は嫌われ、芝生が一面に広がっています。1970年と比べると、菜の花は5%に、レンゲ草は11%に減少しました。シロツメクサも少なくなりました。土手に生えた草は、花が咲く前に刈り取られます。昆虫の棲家はどこにあるのでしょうか。除草剤や農薬や殺虫剤が使われたりすると昆虫には致命的です。



山では、雑木林が、杉などの針葉樹ばかりの人工林に変わり、花粉症の原因です。鹿の食害も増え、山野がまったく草の生えていない地域もあります。樹皮まで剥がされています。

地球温暖化で、桜など花の開花時期が早まり、ミツバチがまだ活動を始めないのに花が咲くことになります。異常気

象で雨が続くとミツバチは飛ばなくなり、蜜が採れません。

花粉を媒介する昆虫が減少していけば、多くの農作物、果物は実らず、農業が衰退します。家庭菜園もできません。ハチがいなければ、朝のコーヒーも飲めなくなります。

私たちに出来ることは、蜜源になるような植物を





育てること。草むしりをし過ぎないで、野花をいくつか残しておくことではないでしょうか。公共施設の敷地には、実のなる果樹を植えた方が、災害の時に食べることができるでしょう。同じ木ばかりの並木よりいろんな種類の樹木を植えてほしいと思います。虫を嫌がる親子も

多くなっています。大人も子供も虫に興味をもって、昆虫の素晴らしい役割を知ってほしいと思います。

“First time beekeeping”

A T



Two years ago, as a hobby, I started keeping wild Japanese honeybees, which have a habit of escaping in stacked boxes. There are also a slightly larger Western honeybees imported as livestock during the Meiji era in Japan.



The queen bee feeds exclusively on royal jelly and lays 1,000 to 2,000 eggs daily, with a lifespan of 2-3 years. All worker bees are female and their lifespan is 1-3 months. They change jobs in the hive depend on age in days, and after the 20th day, they go outside to collect nectar and pollen to bring them home.

In the spring, male bees appear. In English, the male bees are called drones, the same as radio-controlled drones, meaning lazy or useless. In fact, male bees have no venomous stinger, does no work in the hive, and are useless except during the breeding season.



When a new queen is born in the spring, swarm will occur. The old queen leaves with half of the swarm and the new queen takes over the hive. At this time, the whole area is filled with flying bees. They are not aggressive, but I don't want to get closer. Eventually, they gather on nearby branch and form a cluster. If you can capture the queen bee along with it, you will get another colony. As the hive grows, it is ready to collect honey.

Japanese honeybees collect pollen and nectar from multiple flowers, so they are called "Multifloral Honey". It is valuable because the number of times and the amount of honey that can be collected is small. The taste is rich





and deep, and the comb honey from the hive is the best. I also made a candle of beeswax. I lit it on our Buddhist altar as offering during the Bon Festival.

The populations of insects, including honeybees, are declining. Land development has reduced the amount of green space, and in parks, trees with falling petals and fruits are disliked, and lawns are all over the place. Compared to 1970, canola flower decreased to 5% and Chinese milk vetch decreased to 11%. White clover has also decreased. The grasses on the banks are cut before they bloom. Where are the insect habitats? The use of herbicides, agricultural chemicals and pesticides is fatal to insects.

In the mountains, thickets have been replaced into artificial forests full of cedars and other conifers, which are the cause of hay fever. Deer damage has also increased, and there are areas in the mountains where no grass grows at all. Even the bark has been stripped off the trees.

Due to global warming, cherry blossoms and other flowers will bloom earlier, even though the bees have not yet started their activities. If rain continues due to abnormal weather, bees will not fly and honey cannot be collected.



If the number of insects that carry pollen decreases, many crops and fruits will not be harvested and agriculture will decline. We will not be able to grow vegetable gardens. Without bees, we will not be able to drink coffee in the morning.



What we can do is to grow plants that can be a source of nectar? We should not weed too much and leave some wildflowers. It would be better to plant fruit trees on the grounds of public facilities, so that people can eat them in case of a disaster. I would like to see various kinds of trees planted rather than rows of the same trees. Many parents and children do not like insects. I hope that both adults and children will take interest in insects and learn about their wonderful roles.



3. リモート碑巡り

中国・四国支部 企画部

中国・四国支部の2021年度企画案「リモート碑巡り」の概要です。

「原爆に関する碑」→U S、「戦争に関する碑」→U Y、H T、「自然災害に関する碑」→K K、M T、がそれぞれリサーチして下さいました。簡単にご紹介します。(五十音順、敬称なし)(詳細は、各提出者のA4レポート原稿を読んで下さい)

1) U Y

訪れたところ：和庄公園（広島県呉市本町18-9）’21.9.21. 戦災慰霊碑：呉空襲犠牲者供養地蔵
：この供養地蔵は昭和20年7月1日の空襲の時、和庄防空壕で亡くなった800人余りの方たちを慰霊するため作られました。その時かろうじて生き残った方、当時7歳だった中峠房江さんことふうちゃんの体験をもとにした絵本が、「ふうちゃんのそら」。(作・絵 よこみちけいこ ニコモ、2019) …書店で求めること可能。



2) U S

訪れたところ：工兵第五連隊慰霊碑と工兵橋
「この素晴らしい木は一体何という名前の木かしら?」「先生、“ナンジャモンジャ”の木ですよ。」と1年生の女兒が、明るく答えてくれました。
碑の正面には：「慰霊碑 工兵第五聯隊跡地」と書かれていました。
当時、この地には中国軍管区工兵補充隊(旧工兵第5連隊)が駐屯していた。8月6日 午前8時ごろ、在隊者は作業演習のため、営庭に集合していた。被爆により、多数の隊員が犠牲となった。
工兵橋：原爆によって白島地区は、この工兵隊付近を除いて全焼しましたが、この橋は損傷が少なかったため、おおよその被爆者が渡って避難していきました。



工兵橋



3) K K

訪れたところ：「忘れまい大災害」石碑
住所：広島市佐伯区五日市町大字上河内
(河内公民館敷地内)
災害の発生年月日：1999年6月29日
死者 10名、建物被害128(戸、棟)



4) H T

訪れたところ：広島市南区比治山公園内、旧陸軍墓地、「対馬丸乗船、沖縄疎開学童の霊」

1944年8月22日、米軍の潜水艦が発射した魚雷によって撃沈された。学童788人を含む約1500人が犠牲となった。広島に居た陸軍船舶砲兵部隊の隊員41人が乗っていた。(朝日新聞’20/8/23(日)の朝刊)



5) M T



訪れたところ：水害碑「瀬川卯一翁彰徳碑」広島市安佐南区山本七丁目 31

友と散歩がてら「平山八幡（ひらやまはちまん）神社」を訪れた際に、本殿への石段登り口の右手にある石碑が、過去に発生した山本地区大水害に関連する「瀬川卯一翁彰徳碑」であることを知りました。広島市で確認されている水害碑のうち、災害対応を謝恩・彰徳して個人名を碑銘としている例は無いようです。

災害発生年：1926 年（大正 15 年）9 月 11 日、1928 年（昭和

3 年）6 月 24 日

災害の種類：洪水・土石流 死者数：24 名、

石碑が建立された年：1943 年（昭和 18 年）11 月 3 日、

翁は 1944 年（昭和 19 年）12 月 25 日 72 歳で没した。



4. イタリアだより

ー日本とイタリアの2拠点生活をされている音楽家、Oさんのイタリアでの年末事情です。ー

近畿支部 O N

昨年 12/12 から今年 1/27 までイタリアに滞在しました。

イタリアもオミクロン株の感染者が増え続ける時期でした。イタリアの人口は日本の人口の約半数強、日々の感染者数は日本の倍以上ですから深刻な問題です。でも飲食業界などは日本のように厳しい規制は無くワクチン接種証明又は 48 時間以内の陰性証明を持ってマスクを着用していれば不自由なく出入りできました。学校はやはり日本と同じようにクラスに陽性者が出ると 1~2 週間学級閉鎖になりその間はリモート授業になります。ワクチン接種はかなり進んでいて若い世代でも 3 回目を終えている人が多く、もはや 4 回目が話題にあがっています。

同時に頑なに拒否する人々も日本よりは多い様です。政府はワクチン接種は強制では無いと言いながら接種証明無しでは公共交通機関も利用できない等、社会生活が大幅に制限されるのは矛盾しているとローマやミラノのような大都会ではデモが頻繁に行われています。ただ一応



クリスマスのミサ

皆さん警戒心は持っているのので出来るだけ人込みをさける努力はしています。



リグーニア海岸。向こうに見えるのは音楽祭で有名なサンレモ

私はクリスマスの時期 10 日間を気候温暖なリグーニアの友人宅で過ごしました。カトリック教国にとって最も大切な行事クリスマスの日（12 月 25、26 日）は祝日で午前中教会のミサに行き（近年は行かない人も多いですが）午後からは例年なら親戚や友人を大勢招いて賑やかに長時間かけて食事を楽しみます。ですが今回は自粛して家族だけでこじんまりとした集まりでした。年末年始はアドリア

海岸に近いチェゼーナで過ごしました。大晦日は夜9時から友人宅でパーティー、12時少し前からカウントダウンを始めて0時になったと同時にシャンパンを開けてお祝いしました。この集まりも最初予定していた人数を大幅に減らして総勢5人でした。

因みに私のイタリアでの拠点はマジョーレ湖左岸のVerbaniaと言う街で人口約3万人、ミラノの北西約90km、湖岸沿いを北に

約30Km行けばスイスとの国境です。湖の中に国境があります。ヘミングウェイの”武器よさらば”の舞台にもなった風光明媚な保養地でドイツ、スイス、フランスの人たちのセカンドハウスが点在しています。

まだまだ日本から観光目的の海外渡航は難しいですが以前のように自由に動ける日が早く来る事を願っています。



年末年始を過ごしたチェゼーナの広場のイルミネーション

5. 私にとっての年末年始—伊勢神宮下宮そばに住んで

東海北陸支部 I M

Come to Ise when things get to back normal!

しめ縄：年末は29日にしめ縄を買って、30日に玄関に飾る。しめ縄には、1年を通して健康であることを祈って「蘇民将来子孫家門」と書かれた札が。コロナも門前払いだ。近年では、「笑門」も。他県から来た人は一年中かかっている締め縄を見て、表札と見間違える人もいて、「伊勢は笑門という苗字の家が多いですね」と言われたことも。しめ縄を売る店は、社の前に何軒も出て大変な賑わいだったが、今年は1軒のみ。風物詩が消えて行くようで寂しい。



年末詣、年越し参：寒い中一人で出かける勇気もなく、近くに住む娘一家に声をかけてもらって「伊勢神宮、外宮さん」へ。子供が小さい頃は、網と餅を持って行って参道の篝火で餅を焼いて食した。「一年間風邪を引かない」という言い伝えを信じ。参拝者は少なかったが、今年もや



はりその光景が。以前はNHKの紅白歌合戦が終わる頃、外宮へと向かう隣近所の人たちもいたが、高齢化とコロナ禍のせい、境内で会うこともなかった。「内宮さん」まで車で行って年越し参りをしていた時も。12時を迎えると大混雑のご正殿の前で「明けましておめでとう」と。真冬の寒さと闘う夜中のこと、毎年恒例のことだがパワーがいる。

初詣：伊勢市と伊勢市観光協会は、今年の初詣は「平日伊勢まいり」とし、6日以降の平日参拝

を勧め、駐車場を無料とし、特産品が当たるという触れ込みも。私自身は、去年今年と取りやめ。神宮司庁の発表では3が日で昨年は前年比の30%減、今年は去年の倍近く332,249人（令和2年は560,320）。平日参拝した人によると、たくさんの人出だったとか。

節分、どんど火：二見の興玉神社に豆まきに使う福櫛を買いに。そして節分の日には去年の近くの「今の社」に昨年一年中飾ったしめ飾りを持って行って、どんど火で焼く。驚いたことに町内の人達や神職による鬼退治の寸劇から豆まきまで披露された。最近の事だと思う。日本の伝統、文化を復活させようという意気込みを感じた。

コロナによる自粛が始まった頃から、自転車で5～6分の外宮さんを一人で何度も訪れた。ひっそりとした外宮神域、勾玉池、伊勢市駅周辺。大勢の参拝客、観光客が消えてしまった尋常ではない光景に呆然とした。一方で、静けさのなかに身を置く心地良さと、神宮の杜の緩やかな稜線、木々の枝ぶり、駅からの参道の古い建物を新鮮な気持ちで見ることができた。

最近の、少し増えたり減ったりする人出を見ながら、東京方面に住む孫達といつ一緒にお正月を迎えられるのだろうかと思う。次の年末年始に期待を込めて、戦争のない世の中、servasの友人達との更なる交流を願って、神宮に向かって2礼2拍手1礼

最後に、西行が伊勢にいた頃伊勢神宮に参拝した際に詠まれた歌を：

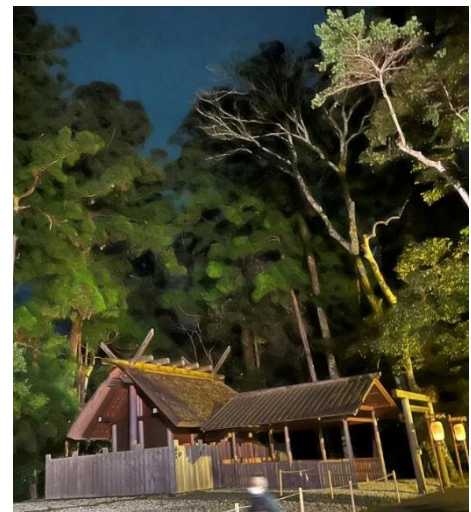
何事のおはしますかは知らねどもかたじけなさに涙こぼるる

From whence come, I know not, these tears of gratitude in my heart

by Saigyō Hoshi (Buddhist monk and poet in the Heian period)

しめ縄に興味がある方こちらも。三重県のウェブサイト
今にいきづく呪符「蘇民将来子孫」

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/rekishi/kenshi/asp/arekore/detail.asp?record=60>



6. 気候変動から気候緊急事態へ

NS

国際サーバス会報 Vol.23 No.4 p18 より

<https://www.servas.org/en/newsletters-bulletins>

どのように我々サーバス会員は、その解決のための役割を果たすことができるでしょうか？

SI 国連コーディネーター、ダニエル・セレス、国連 NY の SI からの主代表、ジャンヌ・デバイン、

国連 NY 持続可能な開発目標 13「気候変動とその影響に対処するために緊急アクション」の SI 担当者、ゴパル・ラジャン。国連環境プログラムを参照してください。

[UNEP]:<https://www.unep.org/explore-topics/sustainable-development-goals/> なぜ持続可能な開発目標が重要か/目標-13



私たち一人一人、気候変動を制限し、地球を守る役割を果たす必要があります。私たちが旅行する方法から、使う電気や食べる食べ物の選択まで、私たちは環境への影響に違いを生み出すことができます。環境に悪影響を及ぼしにくい選択をすることで、私たちは解決策を導き、よい変化に向かって影響を与えることができます。

私たち国連の SI 担当者は、いくつかの提案を持っています：

- より少ない汚染につながる選択をする。プラスチックを避ける。より少ないエネルギーを使用する。航空機とガソリン車による旅行を減らす。
- 肉の消費を減らす。地元で購入し、食品廃棄物を避ける。
- スウェーデンの活動家グレタ・トゥーンベリが始めた若者たちの運動’ Friday for Future ‘をサポートするなど、同じ志を持つ組織と力を合わせる、
- より危険にさらされている国のサーバメンバーをサポートする。
- 気候変動への取り組みに行動を起こしている地方および国家の指導者を支援する。
- 気候変動の緩和と環境政策へと適応させるために、貧困国へのより速い財政援助を支援する。

あなたの提案は何ですか？



Servas International News Bulletin Vol.23 No.4

From Climate Change to Climate Emergency

How can we, Servas members, be part of the solution?

By Danielle Serres, SI UN Coordinator, Jeanne Devine, SI Main Rep at the UN NY, and Gopal Rajan, SI Rep at the UN NY Sustainable Development Goal 13 Take urgent action to combat climate change and its impacts. (See United Nations Environment Programme [UNEP]:

<https://www.unep.org/explore-topics/sustainable-development-goals/why-do-sustainable-development-goals-matter/goal-13>)

Every one of us can help limit climate change and take care of our planet. From the way we travel, to the electricity we use and the food we eat, we can make a difference. By making choices that have less harmful effects on the environment, we can be part of the solution and influence change.

We, SI Reps at the UN, have some proposals :

- Create less pollution, avoid plastics, use less energy, reduce travel by air and gasoline-powered vehicles

- Consume less meat and buy locally, and avoid food waste
- Join forces with like-minded organizations, including supporting Fridays for Future, the youth-driven movement inspired by Swedish activist Greta Thunberg
- Support Servas members in countries where they are more at risk
- Support local and national leaders who are committed to addressing climate change
- Support the faster disbursement of financial help to poor countries, to mitigate and adapt to climate change in a decisive manner.

What are your suggestions?

7. 国際サーバス会報（Vo1. 23 No. 4 2021）要約



日本サーバス国際部チーム

国際サーバス（SI）では年4回 News Bulletin（会報）を英語、スペイン語、フランス語で制作し、各国サーバスに配信しています。日本サーバスは各支部を通して英語版を全会員に配信していますが、他の言語で読みたい方は SI の Web ページをごらんください。（Newsletters & bulletins | Servas Online または <https://www.servas.org/en/newsletters-bulletins>）

以下は日本サーバス会長委嘱のプロジェクトチームである「国際部」チームが上記内容を日本語で要約・紹介したものです。興味のある部分や写真のキャプションだけでも元版をご覧くださいれば世界の各地で行われている多様なサーバス活動の一端を味わっていただけるのではないのでしょうか。

ページ	概 要
3	Are you the person for the Job? 国際サーバス(SI)実行委員会が、次の役職を緊急募集しています。(①サーバス国際会議・総会の財務マネージャー②国際サーバスの国連コーディネーター) 詳しい仕事内容や問い合わせ先等が紹介されています。
4	Want to promote equality and empowerment of women? 第 66 回女性の地位に関する国連委員会(UNCSW66)が、今年 3 月 14～25 日に開催されます。国連経済社会理事会(ECOSOC)と協議資格のある (SI を含む) すべての NGO が参加できます。興味がある方は連絡ください。
5	Servas Youth Language Experience : SYLE 2022 が再スタート !

6	14～30 歳の若者が応募対象。SYLE とは？期間は？何をするの？申し込み方法などが紹介されています。加えて、「SYLE+イタリアでのボランティアSummer2022」の紹介。
7	She's a Winner 2020 年 3 月サーバスブラジル&ポルトガル主催の第 2 回環境・平和エッセイコンテストで受賞したブラジル在住 17 歳のマリアクララさんの紹介。タイトルは「Covid 19 の中で環境への影響」。更に、COP26 でオンライン参加した「Women & Climate」を通して、環境問題への認識が高まったことなども紹介されています。
8	COP26, Glasgow 2021 Scottish Servas Response to the Accommodation Challenge 2021 年 10 月、COP26 に参加するため、世界中から 3 万人の代表者が英国グラスゴーを訪れました。その宿泊施設確保が難しい中、サーバス会員がクエーカー教徒のための宿泊施設を調整し始め、最終的に 50 名の参加者のホストを確保することができました。会議開催期間は、例外的な忙しい 2 週間でしたが、参加者にとっても、またホストにとっても Servas 理念を再認識させる貴重な経験であった、という内容が記されています。
11	Bike tour from Vienna to Budapest 2021 年 9 月 7～21 日ノイジードル湖とバラトン湖を経由してウィーンからブダペストへの自転車ツアーを敢行した Hueber さん。ワクチン接種証明書を携帯しての 750 kmの旅の様子が紹介されています。
13	Covid-19 Policy SI 実行委員会が、全世界のサーバス会員用に COVID-19 ホスト・旅行指針を承認しました。その方針概要が掲載されています。「柔軟性、自己管理、他人への思いやりが楽しむためのキーワード。」と結ばれています。
14	Hike the Swiss Mountains 恒例のスイスサーバス Pentacost meeting2022 開催のお知らせです。6 月 4～6 日、スイス東部の Wildhaus にて開催予定。申し込み締め切り 2 月 15 日。
15	Group of SERVAS MONTAÑA in Catalonia 17 年前、スペインカタローニャ地方のわずか 7 名の山歩き愛好家（サーバス会員）で始めたハイキング。数年たった今では、近隣諸国からの参加者も含め、30～50 名の参加者で、バス貸し切りで楽しんでいる。一番の醍醐味は、やはり friendship....
17	Geneva Peace Week “GPW”は毎年世界のさまざまな団体が国連と協力して平和構築目的の為の活動を行っています。2021 年はオンラインで開催され、国際サーバス(SI)本部から 2 名がニューヨークより参加しました。
19	Travels In Georgia, June 2021 スイスサーバスの Christoph Kuhn さんの旅行記です。ジョージアの様々な土地を歩き、多くの出会いと興味深い体験が語られています。
22	Why Singing? 歌の力、歌うことで人々がつながる。サーバスの伝統とも言える歌の力と長い年月にわたる体験をイタリアサーバスの Luigi Uslenghi さんが語ります。
25	100+ Michaels

26	サーバスメンバーに100人以上の Michael を見つけた Michael Johnson さんが2人の Michael を紹介します。 イスラエルの Michael Ben Abu：多才で多彩な活動家。 カナダ在住の Michael Vincent Moore：サーバスの精神に深く共感する Michael さんは”sound heart”の重要性を説きます。
27	New Key Persons Servas São Tomé E Príncipe が活動開始。唯一のメンバー Edgener Espirito Santo さんはこれからの会員増加を期待しています。
28	イタリアサーバス、フランスサーバスの新旧役員交代と新役員の紹介。 Servas Sri Lanka が活動を再開しました。 SI Development Committee の5人の役員紹介と退任役員への謝辞。
29	“Cultural News” ラクダのビューティコンテストで40頭がボトックス施術を受けていたため除外された！ *あなたの地方の文化について、ニュースを知らせてください。 newsletter@servas.org
30	Well Remembered Victor Vérez Bermejo(1942-2021)さんへの弔辞が Juan Carlos Arias さんから寄せられました。
31	Servas, A Global Community Within Virtual Reach サーバス機関のネット上のアドレス
32	Servas News (季刊誌)について、SI 本部役員名簿

8. あとがきにかえて

N S

コロナ禍での支部活動の一例として、中国・四国支部の「碑巡り」の活動はユニークで地域の歴史を掘り起こす大変意義のある活動であると思いました。東アジア地区オンライン交流会は3人の方のプレゼンと共に今回の原稿もSDGsの実践として、記録に残すべきものであると思います。またコロナ禍のイタリアの様子、伊勢の年末年始の様子など興味深い文章を寄せていただきありがとうございました。また伊勢の I さんは早速、伊勢市駅前でウクライナ侵攻反対の抗議活動をされている様子を facebook で紹介されました。



盛りだくさんの内容でしたが、最後までお読みいただきありがとうございました。

...